

県土連 令和5年度第1回役員会 開催

5月15日、本会中会議室において県土連の令和5年度第1回役員会が開催され、役員出席のもと令和5年度一般会計収入・支出補正予算（案）や諸規程の改正等について審議が行われました。

役員会は、楫野会長（大田市長）が議長となり議事録署名人に飯塚俊之理事（出雲市長）と塚原隆昭理事（飯南町長）を選任し議案の審議に入りました。提出された議案（補正予算、諸規程の改正、職員の採用について）について事務局が説明し、その後審議が行われいずれも全会一致で了承されました。



県土連職員研修会 開催



5月15日（月）に、本会職員を対象とした職員研修会が、本会大会議室において開催され、職員36名が出席しました。

研修会は本会の女性理事でもある、島根県農業経営・就農支援センターアドバイザーで、なかお商会代表の中尾祥子理事、島根県立大学地域政策学部准教授の豊田知世理事がそれぞれ講師を務められました。第1部では、『農村RM0について』と題して中尾理事が講演をされ、ご自身が代表を務めるなかお商会の仕事や、農村RM0とはどんなものなのかについての説明をいただきました。また、農村地域のコミュニティ機能の維持や活性化、農地保全や生活支援などを含めた持続的な運営の取り組みについて実践、これからしたいことなどについて講演をいただきました。第2部では、『若者の考える農業と男女共同参画』と題して豊田理事が講演をされ、地球温暖化が引き起こす影響や地球環境に配慮した有機農業について、またご自身が指導されている学生と耕作放棄地を畑に改良し、改良した畑で実際に有機農業を実践していることなどについての説明をいただきました。いずれも農業の発展や農村地域の活性化などを目指した活動をしておられ、通常業務ではあまり経験することのない内容の講演を聞くことができ、とても有意義な研修会となりました。

- ◆ 県土連 令和5年度第1回役員会 開催 1
- ◆ 県土連職員研修会 開催 1
- ◆ 中国四国土地改良事業団体連合会協議会事務責任者会議 開催 2
- ◆ 令和5年度 土地改良区役職員等研修会 開催 2
- ◆ 「令和5年度 農地・農業用施設災害復旧事業研修会（Web）」の開催 3
- ◆ たんぼの学校in山王寺棚田「田植えコース」開催 3
- ◆ 「ルーラル・ミーティング in しまね：R5」開催 4
- ◆ 6月の主な予定 4

中国四国土地改良事業団体連合会協議会事務責任者会議 開催

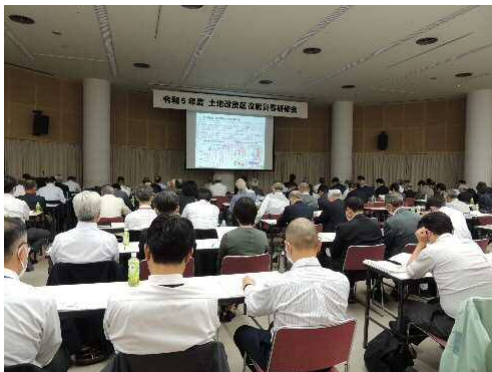
5月17日に岡山市の「ピュアリティまきび」において標記会議が開催され、本会からは高橋常務理事、福島参事が参加しました。はじめに当番県である愛媛県土連の小崎専務理事より挨拶があり、その後議事に入りました。

議事では令和5年度の会議及び事業計画、今年度の中国四国土連協議会としての要望活動内容（実施時期、要望先等）及び提案事項についての協議が行われました。

各県土連からは地域が抱える現状と課題に対する提案と期待される効果が説明され、中国四国土連協議会としての提案・要望事項としてとりまとめた内容を6月に愛媛県で開催される「中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会」で語り、その後農林水産省や財務省へ要望活動を行う予定となっています。



令和5年度 土地改良区役職員等研修会 開催



5月25日(木)、松江市のくにびきメッセにおいて、令和5年度土地改良区役職員等研修会を開催しました。

新型コロナウイルスによる制限が緩和されたため、昨年を大幅に上回る、約170名の県内土地改良区役職員、県・市町村職員及び農業土木技術研究会員が出席しました。

初めに本会の渡部専務理事より挨拶があり、その後、中国四国農政局の田中課長補佐から「土地改良区役員の責務」と題して講演いただきました。講演では、土地改良区とは、土地改良事業を行うために設立された団体であり、事業地区内の農業者は当然加入し、事業に要する経費を負担し、滞納があった場合は強制執行により徴収出来ること、土地改良区理事・監事の責務等について詳しく説明され、参加された土地改良区役職員は土地改良区の役割を再認識することが出来ました。

午後からは、島根県の清水農業経営課課長補佐より、令和7年3月までに作成が義務化された地域計画についての実践的な説明があり、同じく三浦農村整備課課長補佐より、県内における基盤整備事業の取組事例の紹介がありました。続いて、独立行政法人 水資源機構の日置副理事長より、「水資源機構の水管理について～土地改良区の水管理に向けて～」という演題で、水資源機構の概要や近年話題になっているDX（デジタルトランスフォーメーション：デジタル技術で生活をより良く変革させること）、水資源機構でのDX活用の取り組み、また、国会での予算編成過程における農業農村整備関係費獲得に向けての具体的な事例等について説明もありました。

講演後の質疑応答では、多くの質問が出て、充実した研修会となりました。

「令和5年度 農地・農業用施設災害復旧事業研修会 (Web)」の開催

5月25日(木)午前10時から、島根県庁、県出先事務所、市町村、島根県土地改良事業団体連合会の関係職員出席のもと、Web会議にて令和5年度農地・農業用施設災害復旧事業研修会が開催されました。

研修会では、行政機関における災害担当者の業務理解の促進を目的に、島根県庁防災担当職員や中国四国農政局の査定官による災害対応への説明が行われました。島根県からは災害事務の留意事項のほか、査定設計書作成に係るハンディ手引きの参考資料を作成され、査定に係る業務のさらなる統一



化、効率化を目指す見通しであることなどが説明されました。また、査定官からは全国的な災害対応の取組として、MAFF-SAT(農林水産省サポート・アドバイス・チーム)が発足していること、市町村の要望に対して支援協力できるよう、被害情報、災害対応状況等を博する仕組み(災害トリアージ)が行われていることも説明され、市町村へこの取組について把握するよう呼びかけがありました。研修の後半では島根県土連より補助申請システム(集計版)の操作説明を行いました。

島根県では数の大小こそあれ、ここ数十年の間で災害が発生していない年はありません。災害はいつ、どの規模のものが発生するかわかりませんので、いざ発生した際に迅速に対応できるよう、事前に国、県、市町村が対応の確認、連携を行うことが肝要です。

たんぼの学校in山王寺棚田「田植えコース」開催



5月28日(日)、雲南市大東町山王寺で、たんぼの学校「田植えコース」が開催されました。本年度はコロナ禍も明け一般の参加者の募集を行い、近隣の市町より親子連れ約70名の参加がありました。

当日は、天候にも恵まれ、地元の方の田植えの説明の後、きれいに代掻きされたたんぼに入り、ばばひき(苗をまっすぐ植えるための線を引く道具)を使って線を引いた後、コシヒカリの苗の手植えをしました。子どもも大人もなれない作業に悪戦苦闘する中、服も泥だらけになりましたが、その分笑顔で楽しんで田植を終えることができました。

たんぼの学校は、後継者不足や高齢化が進み、棚田の保全が難しい状況になってきた中で、農村の良さを広く多くの方に理解していただき、また、地元の農産物をアピールして活性化を図ることを目的に平成18年度から開催されています。

今後のたんぼの学校は、9月24日(日)に稲刈りコースが予定されています。

多数の参加お待ちしております。

「ルーラル・ミーティング in しまね：R5」開催
 = 食料・農業・農村基本法の検証・見直しにみる農業・農村のこれから =

下記のとおり開催しますのでふるってご参加ください。

- 1 日 時 : 令和5年6月24日(土) 13時～17時30分(研修会)
 令和5年6月25日(日) 8時30分～12時(現地視察)
- 2 場 所 : 益田市 島根県芸術文化センター「グラントワ小ホール」
- 3 主 催 : 島根県農業農村整備推進協議会(事務局:水土里ネット島根)
- 4 スケジュール:
 - ≪6月24日 研修会(13:00～17:30)≫
 - 13:00 開 会
 - 13:10 基調講演 「基本法見直しの行方」参議院議員 進藤金日子
 - 14:00 講演「基本法検証見直しと農業農村整備事業」(仮題)
 農林水産省 農村振興局前計画調整室長 瀧川拓哉
 - 14:50 パネルディスカッション テーマ「基本法見直しへの提言」
 - 16:40 名刺交換・情報交換会(進藤議員と参加者との)(終了17:30予定)

≪6月25日 現地視察(8:30～12:00)≫

- ・農事組合法人との連携による農地保全等(横尾衛門の郷)
- ・幅広畦畔機械除草等(みだけの里おくがの)

6月の主な予定

開催日	行 事 等	開催地
6月6日(火)	令和5年度しまね水土里女性の会総会	県土連
6月12日(月)	令和5年度中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会	松山市
6月15日(木)	農業農村整備の集い	東京都
6月24日(土) ～25日(日)	ルーラル・ミーティングinしまね(R5)	益田市



水土里ネット島根 (島根県土地改良事業団体連合会)

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
 ホームページ<https://www.shimanedoren.or.jp/> メールsmndoren@shimanedoren.or.jp